

1978年6月号

昭和53年6月5日発行（毎月1回5日発行）

No.27

あんふあんて

発行人 発行所 編集口座
定価 100円 振替口座

逐次刊行物

昭 53.7.16

国立婦人教育会館
情報図書室

詩
イラスト
矢野 日影

ひそかに何かが……

通りを行きかう人々
無言だけれど

お互いに生活の疲労を共有しあっている
コーヒを飲みながらあなたは笑った

買物に行つていっぱい使い込んだお金
お金を得るために働き

疲れたからだに
お金を使つて

リフレッシュさせようとしている
子どもは学校へ行つて

たくさんのお金を覚えこんだ
お父さんは

会社の仕事に追われて忙しい
お母さんはパンを焼いている

夕方になれば
テレビを見ながら団らんしている

それぞれに幸せな家庭の役割を
荷っているつもり

けれども
確実に何か

失われていった
私たちの知らないあいだに

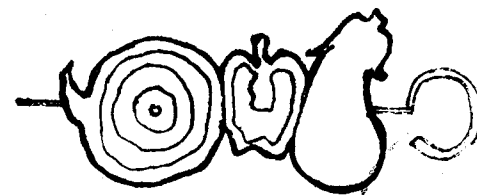
何者かによって
私たちは日々

ぬけがらの個体になった



あ ん ふ あ ん て の 目

= 出産は実家て？ =



先日の朝日新聞に、妊娠中の人が産婦人科の病院で、「親元へ帰って出産するのなら責任がもてませんから」という理由で受診を拒否されたが、これは病院の営利主義のあらわれではないかという疑問が掲載されたところ、産婦人科の看護婦さんから、「医者や助産師にも理由はあって、営利主義からばかりとはいえない。どうして夫婦で頑張るべきか、出産してみないのか。」という反論がありました。営利主義かどうかは、この際別にして、前述の女の人は遠い実家までわざわざ受診の度に帰郷しているというのですが、それこそ危険ではないでしょうか。それに男にとってみても、せっかく一生にほんの何回かの子どもの誕生というチャンスなのに、おなかの大きくなったおカミさんが、出産前に

ポツといなくなり、しばらくして電話等で、「生まれました！母子ともに無事ですヨ」とか聞かされ、やがて赤ん坊を連れのおカミさんが帰って来て親子の生活が始まる……というのでは、その間の空白感と解放感が、育児に大奮闘して疲れ気味のおカミさんへの理解とつながっていくのはなかなか難しいのではないのでしょうか。たとえ一週間でも男が育児休暇をとり、または会社からできる限り早く帰宅して、最少限必要な家事をするくらい協力し、子どもを協力してつくった以上当然の責任ではありませんか。男と女がいつしよになつて子どもを育てるのだという認識を、出発時から具体的に持つためには、出産という最も肝心の部分をポツカリと空けてしまつてはいけいではないかと思うのです。

出産する女自身にとっては、自分の親元の方がのんびり気持も休まるし、世話も行き届くし、赤ちゃんは確かにですが、その後の子どもを育ててゆくパートナーとの長い関わりを考えてみれば、赤ちゃんが必ずしもベターとはいきません。

勿論、いざという時のためには、電話一本でかけつけてくれる友人、知人や、近所の人々の理解と援助が必要で、出産直後の過労の状況をよく判断し、無理のないように十分注意した上で、つれあいと事前によく検討してみた方がよいでしょう。

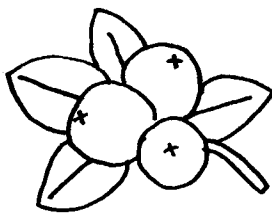
病院で出産の場合は、普通一週間から十日間入院するでしょうし、退院後女自身で家事が無理な期間は約三週間位ですから、出産祝は貸オムツとか労力奉仕とかにしてもらった

たり、コインランドリーや今流行のタイヘイ（食事材料を届けてくれる会社）を利用したりして、なるべく親を頼らず、何とか自分たちで切り抜けるように考えてみてはどうでしょうか。

私自身の場合は、私の母親は仕事をもちっているであてにできず、またあてにする気もなかったため、夫とふたりで切り抜けてもらい、当時朝9時から夜10時、当番の日には朝6時出社という重労働の仕事をしていた夫は、昼休みに買物をして、夜帰宅してから料理、洗濯をしました。職場と住居が近かったおかげもありましたが、とにかく何とか切り抜けられました。

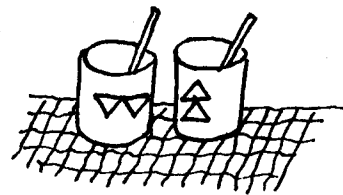
新幹線のベビーコーナー設置運動は、母親の人権からいっても、子どものためからいっても勿論賛成ですが、小さい子どもを連れて列車に乗る必要がある理由の第一位は多分、出産に関することではないから、帰郷出産の是非をもう一度考えてみるのも必要なことではないでしょうか。

(菅原)



保 険 料 の た め に

バザーを /



又今年も相互託児保険のお金を払い込む季節が近づいてきました。この季節になると毎年払い込むお金があるだろうかと思ふのですが、やはり……今年も足りないのです。それで各グループにお願いなのですが、グループ主催でバザーなどやってみませんか。ちょうど市川のたんぼぼ保育園で、6月4日にバザーをやったばかりなので、その模様を書いてみました。これを読んでやる気を起こしてもらえればうれしいと思います。

★ ★ ★

預かっていた6人の子供達が、4月から全員公立へ行ってしまい収入ゼロとなって、今にもつぶれそうなたんぼぼをどうするか。全員つぶれたくないという思いは同じ。ならば何か運営費をつくることを考えよう。もちろん園児募集もしながら、ということとで計画したのが今回のバザーなのです。

具体的な話を決めたのが、4月13日。開催日は6月4日（日）と決めました。場所はた

んぼぼでは地理的に不利なので公共の場所を借りることにした。公民館、市民会館、はては学校の体育館まであったけれど、みなバザーはもうけることだからダメと言われてしまった。でも私達もそんなことではあきらめず、目標を市民会館にしばって何度も足を運んだ結果、ようやく借りられることになった。品物は新聞、広報を通じて一般家庭から寄付してもらって集めることにしました。古着を中心にして家の中で余っているものなら何でもよいということにした。そのせいか中には廃品回収と間違えているような人もいた。朝日新聞のイヤホン欄と広報の告知板で協力を呼びかける一方、たんぼぼ周辺にも各戸にビラ入れをした。一番効果のあったのがやはり広報で、ビラも近所の人から反応があった。

品物はできるだけこちらから自転車などで取りに行くようにしたが、遠い人には駅まで来てもらって取りに行った。たんぼぼまで持ってきたくれた人もたくさんいた。協力して下さった方には、後でどれだけ収入があったか報告する事にしたので住所を控えておいた。古着だけでは売れるかどうか心配なので、客寄せのために産地直送野菜を知り合いの農家から入れることにした。前日に4人でだいいの相場が高く、一本百円で売っても赤字になってしまった。しかも量がなくて売れそうもないので、近くの団地で売り歩いたりしたが、全然売れず、頭を抱えていた所、会場にいたおばあさんに市場で売るように教えられ、一件落着いた。しかし大幅な赤字に変わりはな

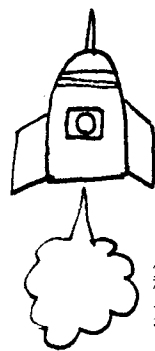
かった。

前日は晴れていたというのに、当日は朝からどしゃぶりで（たんぼぼで何かやる時はいつも雨が降るのです）。あんまり売り上げは期待できそうになかったけれど、皆張り切って会場に出かけていった。会場には予想に反して待っている人が5人程いたのは驚いてしまった。9時30分には30人程が待っていてどっと入ってきた。バザー目的の最初の人達が帰った後も、隣のホールでやっていった人形劇を見に来た人達が入ってきて古着や雑貨などは結構売れていった。

当日の売り上げは163120円で、野菜の代金、その他必要経費をひいた純利益は92852円だった。はじめてやってしかも雨だったにしては良い結果だったと思う。

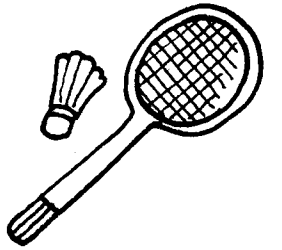
今回のバザーの反省としては、野菜の量を少なくする。品物は値段別でなく、サイズ別に並べる。袋はお客さんに用意してもらう。品物を整理する段階で売れそうな物を厳選する。今回は広さのわりに、品物が多すぎて全部並びきれなかった。物によっては高い値段をつけても売れる。終わる時間をもっと早くする。（後片づけにけっこう時間がかかる。）準備期間をもっと長くする。雑貨がよく売れたので次回はいっぱい集める。以上でした。

これを参考に皆さんのグループでもやってみませんか。



(秋元)

共同保育考



前回2回にわたって様々な問題が出されました。参加する人により又新たな問題が投げかけられたり、何度も同じ問題がひっかかったり。そういう作業の中から少しづつ方向がみえてくるのではないのでしょうか。

今回、参加者は少なかつたのですが、東横沿線グループの方を交えてあれこれ話してみました。

A 幼稚園児をかかえたグループは……

B は、幼稚園に入った子どもが多くなつたグループは、どういうやり方で共同保育を続けているのかしら。

C うちのグループでは、下の子が出来た人が多く、上の子が幼稚園に入ったからと云つても下の子には共同保育が必要だし、幼稚園が終つた後、2、3時間行なつていきます。送り迎えの時間のやりくりなんか問題になるわね。幼稚園が何かで休みになつた日なんか集まつたり。

A どうして幼稚園にいれるのか、いれる時の基準は何か、というアンケートは以前とつ

たので、今度は幼稚園にいれたあとの親の感じ方なんかを聞いてみたいね。

B あんふあんてしながらイキイキ生きたいというのと、幼稚園に子どもをいれるという

ことの接点はどういうことなんだろうね。**A** あんふあんてしたいとか、のびのびしたいとかいうことが、幼稚園にいれて子どものいない時間を2、3時間持てたということ

とすりかわっているんじゃないかな。**D** 共同保育の中で見えたことが、幼稚園や保育園や学校に入れることで見えなく

なつちやう恐ろしさはあるね。子どもが小さかつた時は、なんだかやたらに世の中のしくみに腹が立ったのに、子どもに手がからなくなると、なにやらそれだけであらゆる束縛がなくなつたみたいな錯覚にとらわれちゃうのね。

B 子どもを持つたばかりの人は何んとか活路を見い出したいと思っているけれど、子どもが幼稚園、学校に入つたり、働く必要もなく、何んとか時間もある人にとってじゃあ何をあんふあんてしたいのか、よね。**A** それが一番つらいのよね。回りからの圧迫が少なくつた時に、その人自身が一番問

われるから。学校なんかに入れたら、それこそエアーポケットよ。回りからみれば問題は一杯みえるのに本人はだんだん見えなくなる。考え方の違いに對して反応の仕方がいぶく硬くなつてしまふのよね。

子どもを学校に入れたら女の2度目の人生などというライフサイクル説なんてウソッぱち。今からはつきりとみんなに云つて置きたいわ。幼稚園問題あたりでギョアギョ

アやつておかないと流されてしまうからね。**C** 幼稚園にいれるか保育園にいれるか迷つて

るんだけど。**A** どちらに入れるにしても、こちら側に主体

がなければマイナスになるということを、ハッキリとらえて置くことは絶対に必要だ

と思うよ。**第2子が出来ても……**

C 私は2番目が出来た時、3ヶ月程休んだけど、戻つた時には異和感はなく続けることが出来たわ。メンバー同志が近くてやりやすかつたこともあるし、みんな気が合つていたから。**D** それには最低限の人数がいないと無理な

かもね。ずっとやり続けている人を1人か2人含めて、5、6人ぐらいね。**定例会の必要性……**

A 共同保育の他に定例会を開いているグループも多いし、逆に定例会だけというところもあるけれど。**C** 私達は月1回、日曜日に各自順番にレポーターになり、それぞれが好きなテーマを決めてそれについて話し合っています。最初は近況報告程度だったんですがもの足りなくなるのね、だんだん。テーマは老人問題や、ライフワークのこと、女性問題、尊敬する人についてとか。働くためとかで抜けていった人も定例会だけでは参加してま

すよ。**A** 珍しい例ね。状況が違つてきて、共同保育から抜けていくと参加しづらくなる例が多

いのよ。

D うちの以前のグループでも定例会にしる、読書会のようなものにして、一人一人がかかえている雑多な思いをぶつけられる場にしたいと思つてやつても、きまつた人ばかり。いつも積極的に活動している人ばかりで、こない人はますます来なくなつたわね。**B** 定例会で何かを決めて一本にまとめようというのは困難なんだよね。雑多なんだからまとめようと無理にしないで、グループの雑多さを定例会のようなものをワンクッションにしてぶつけて刺激を与え合うことは必要じゃないかしら。

新しいメンバーとのつながり……

B うちメンバ―の変動がありすぎ、ほとほと疲れちゃつた。スタート時にいた人は私だけ。新しく入ってくる人も期限つきが多くすぐやめていくし、少し長くやれそうなの人がいても預け合いだけに終つて、お互いのコミュニケーションがとれないのよ。**A** 働いている人が多いの？

B ほとんどがパート的な仕事を持つているわけ。でも、そういう人達の方が呼びかけにすぐ反応してくるんだけど続かないのよ。前は一時間かかつてもやるゾノという気持が強かつたけれど、何分もかからない距離なのに遠いと思つたり、共同保育、ヘルパの時に以外は会おうともしないねえ。**A** 問い合わせの電話なんかでも少しニュアンスが違つてきたのよね。マスコミでの取り

上げ方にも問題があるけれど、すでに出来あがつたものに乗つかつて、少しでも楽を

したい的なところが出てきやつたみたい。預け合いプラスアルファの部分で薄くなり、妊娠出産、働くこと、幼稚園などの問題にぶつかるのとあつてなくこわれちゃうよ

ね。**B** 新しいグループをつくるには、第一子で乳児を持つた母親達の方がつくりやすいだろうね。オタオタしているの、物事に対してすごく新鮮だし、いろんな人と話したい

とも思っているからね。ずっとやってきている人は云い加減クタびれているから(笑い)、新しい人達に寄りかかれると何だか煩わしくなつてきちゃうのね。**A** 旧グループの人達のつくつた基盤があるのでそれに乗つていきたいという気分が新しい人達に強いと思う。古いのがあるというところが却つて新しい人達に創る意欲をなくさせているのかもしれないわね。

B 第一子を持つ人は毎年毎年いるのだから、そういう人同志が集まつてゼロから創りあげていった方がいいと思うわ。そして何かの問題にぶつかつた時は、例えば場所の確保で区と交渉するにはこのグループのこの人に、泣く子の問題はこのグループにと

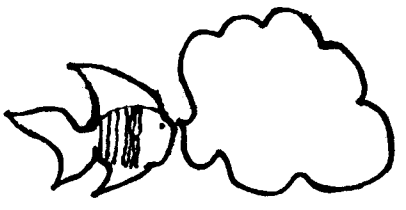
かいう具合に旧グループの人に相談していく。旧グループの人達も次から次へと新しい問題にぶつかつて、又ゼロから出発していくのだから、自分達の得たものを後からくる人達に伝えていく、ということが大事だよ

ね。**A** こういう問題はこのグループに聞いてみたら、位のところで止めるしかないと思う。**B** 新しい人達には、ひとりひとりが創ってい

くことで、寄りかかつて楽しちゃいけないよ、ということくり返し云いつづけることだね。旧人達もアドバイスしっぱなしというんじゃなくて、新しいグループづくりが出来るように力を貸してやつてほしい

ね。**東横沿線グループの人達は、この話し合いには代表者一人しか参加出来ない」と誤解していたらしいのですが、とてもない誤解で話したい人なら誰でも大歓迎ノいえ、いえむしろ自分から積極的に参加してほしいです。**

参加者 油井・矢郷・古知・渡部 (構成II渡部)



いいたい
ほうだい



《迷っている人に》

匿名希望

本当は、こんなことは文字に止めておくことすら恐ろしい、という気もする。でもこのことにこだわらずにつけていこう、そこを脱して、次に進むために、あえて、吐き出してあげようと思う。(私一人で、ビクビクしているだけで、読んでみれば、別にタブーの話でも何でもありません。)

ある日、列車にのって、長い時間の徒然に私の頭は、「次の子はいつ産むか」という計画をあれこれ考えていた。それは一年先か二年先かという選択で、のんきなものであった。その時自分の中に既に生命が芽ばえている事など全く予想もしない、遠い先の空想だった。数日後、妊娠を直感し、それでも半信半疑ながら、医者を訪ねた。はじめ思っていたのは、自分でも精神的にも肉体的にも、何も残さずに、妊娠したという実感すらもたぬうちに、重い月経くらしいの経過で、すごしてしまいう事だった。例えば、リングを入れてもらおうとして、別のところへ出てしまおう。内診をすれば、どんなに初期でも妊娠と、専門医にはわかってしまうのだろうか。これは

だから、実現不可能の方法かもしれないが。そうして、子宮をいじっている間に、ごく初期なら、自然流産してしまうだろう。おろかにも、そんな事を考えた。

しかし、医師は、妊娠していないという確証を得なければ、やたら、リングの着脱はできない、と(当然だろうが)答えた。どんな初期でも、妊娠なら、すっかり中味を出して(中絶なら中絶で)しまうのでなければ、中途はんばなことはできない、という。

私は、「中絶」を認めそうもない夫に、うちあけて相談できなかった。もしするのなら、何もなかったように「こっそり」しなければならぬ。しかし、たった一人で受けとめるのもひどく、気の重い事だった。又、もし万一、事故でもあった時、何といたらよいのだろう。私たちの間には、つくろえないヒビがはいってしまっているのではないかと、思うと「こっそり」というのはやりきれなかった。

たった一週間ほど、一人迷いに迷った。ひどく長い時のように思われた。全くひょんな事から、私は、妊娠を先に告げることにしてしまった。私の決心をきいた医師は、「あと一と月くらいの間なら、何とかありますよ」と中絶の可能な(安全な)期間を示唆してくれたのだが、その時は、もういいや、産むのだから、と思っていた。それが、一応の社会通念からであろうが、周囲の人たちは、皆、はげまし、祝福してくれたから、私は、一人クヨクヨ考えていた時より、ずっと楽になった。

それから、初期のつわりの時期を経て、楽な中期を経て、もう、3分の1以上を経過し

た今、実は、私をしきりにさいなむのは、後悔の念である。

今さら思ってもしかなかったのな時期になってあすればよかった、こうすればよかったと頭が働いてしまう。妊娠そのものに周囲の抵抗のある未婚なら別として、すでに子もいる私の事だ。一人で誰にも知られぬうち、などと思わずに、妊娠した後に、自然流産した事にすればよかったじゃないか。妊娠4ヶ月の頃、「ああもう遅い」と思っていたのだが、あの頃なら、まだ間に合ったのに。優性保護法で認められているのは7ヶ月までだから、胎動のすこしはじまった5ヶ月ころでもまだ充分に間に合ったのに。でもやっぱり3・4ヶ月のうちに合ってしまった。それをどうして、予定月経を過ぎて一週間以内などと自ら区切ってしまったのだろうか。一ヶ月以内と、のんびりかまえて、流産という事にすればよかった。そうすれば、たとえ、医者にいく間の、上の子のめんどうも、緊急事態として、人に頼めたらうし、その後の安産も、流産という事で、病気に對する思いやりのようなものをまわりから得られたらう。

もし一人の医者で断わられても、何軒かたずねれば、引き受けてくれるところはあるはずだし、自然流産ということになれば、子後の安産が保証されないといえ、「ウソも方便」を認めてくれるだろう。

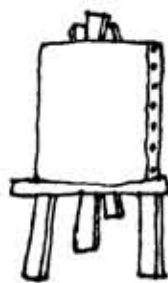
しかし、それを実行するには、おそすぎた。と今、よく動くおなかにとまどいながら思う。そして、こんな不安が。

こんな思いを、おなかの子どもは、ことば以前の以心伝心で皆、知っているのではない

だろうか。胎動ということば、私は大事にしたいと、かねて思っていた。おなかにいる時から、育児がはじまる、という考え方もそうだが、そうだと、思っていた。だから、もし子どもが「ボクなんか生まれてくるべきでなかった」なんて言ったらどうしよう。そう思うとなおさらに、だから、本当に、ぜひ産みたいと願う子だけを産むのがよいのだ。受精、着床と同時に子育てがはじまるのでなく、妊娠3ヶ月の時点で、母親の自覚を問う(本心を問う)チェックがあつていいじゃないか、と思ってしまう。芥川龍之介のカッパの話ではないが、生まれてくる子に産まれたいかいと問う、さらに母に、産まれてほしいか、と問うことが、あたりまえでもいいのじゃないか。

現実には、「やめ(中絶)にすること」に對しての抵抗がある。うしろめたさがある。産まれてくることは無条件にめでたいのだ、という表面的にせよ、通念がある。又、その一枚下には、すでに、子は授けられたものという社会の意識はなく、親が勝手につくものという考えがある。(周囲の人々の眼、を気にしすぎるのかもしれないが)「たいへんね」という一見同情のことばのかけに「産みたくなければ産まずにすませる事だ」で済むのに、ものずきに産もうというのだから、そんなのは当人たちの勝手だ。「苦勞するたつて、親なんだからあたりまえ」といったニュアンスを感じる。それもそうだが、子というものを親の私有物という見方でみる、一家庭の中ですべて処理すべき問題という見方も感じてしまう。

私のつまらぬ縁り言が、今、初期にあつて迷っている人に、何かの役に立つだろうか。私の方は、早産の気配もないし、えい児殺しの母親の気持もわからぬでもない、などと、ぶつそな事を考えるのはもうやめにし、さて今からは心をいれかえて、子どもを歓迎する心の準備にとりかかろう。産まれて、お乳を与えればきつともう「かわいい」という気持ちになれるのだろうか。



《姑の苦言……》

杉並区

7月より保母のアルバイトをします。保母試験も現在進行形でとり続けています。さて先日、事、不愉快な電話がありました。姑「7月から働くんですって?」

私「ええ」

姑「どういう所で働くの」

私「杉並の区立の保育園です」

姑「子どもはどうするの」

私「近所のみにてもらいます」

姑「大丈夫? そんなことで働くことは別に、まわれないけれど、先づ何をしておいても子どもが優先しますからねえ。もし何かあつてからでは、取り返しがつかないわよ」



「ちゃんとした保育園なりに預けるといふのならいいけれど、言い加減な気持ちでやり始めるのでは、一番大切な時期(現在我が息子3歳)を過ごしている子どもが可哀そうですからね、よく考えなさい」私「そんな事は最初からよく考えています。区立の保育園はともに入れないし、私立の保育園はうちの経済状態から言っても無理です」

と、まあこんな会話が延々と続いたのです。話しながら腹が立って腹が立って仕方ありませんでした。ようやくうちの夫の「やってみたら」という返事を聞き、さあこれから働くぞ、という矢先だけに無性にくやしいのと、子どもに万が一の事があつたら、全て嫁である私の責任だなんて……

どうしてこういう物の言い方しか出来ないんだらう。主婦が働くって事は、やはりとても大変なことなのに。「頑張らなさい」の一言もなく、世の中こういう人が、けれど多いのだ。これから働くこととしている皆さん、こんなちっぽけな事にめげずに頑張らなさい。

あんふあんてレポート



多摩市の...さんから、次の様な手紙と新聞の切りぬきが送られてきました。今回は、そのことについて報告します。

私は、多摩市に住むあんふあんての会員です。とてもショックなことがあり、ペンをとりました。

朝日新聞、21面の多摩版に日頃感じたことを電話でいうコーナーがありますが、その6月7日付の記事に「ラッシュ」時以外は電車に乗る時、ベビーカーを使わせてほしい。階段を登る時に手助けする雰囲気があれば、なお助かる。」という意見が載っていました。

私も、日頃感じていたことなので、さっそく電話をいれ、同感ですと言った。

ところが、新聞社の人が言うには、その日のベビーカーの意見が大変な反響があつて、23人もの人から電話がかかってきた。その全員が反対の意見であり、甘えるなどという声が多数だった。賛成者は、あなた一人だからもしかしたら、明日の新聞にとりあげるかも知れないと言ったことだった。

しかし、次の日の新聞には、私の意見はとりあげてありませんでした。圧倒的多数による反対者の「子育てに特権はない。」「甘え以外の何ものでもない。」「自分勝手。」という声がかけていた。

やっぱり、世間は冷たかった。それも思った以上に。

もし、私があんふあんてに入らなかったら、やはり甘えていたと思っただろうか...。日頃私達（あんふあんて）が言っていることは、決して意味があるのだろうか...。情けない気持ちでした。

でも、結果として、電話をして良かったと思う。多数の意見が正しく少数の意見が間違っていることは絶対にあると思う。

内部でいくつ、いろんなことを言っても、こういう時、世間に対して訴えていかなければ何にもならないから。

今回は多数の意見によって甘えているでかたづけられてしまったけれど、私は今でも自分の意見は間違っていないと思うのです。

次に同封された新聞の切りぬきを要約してみました。

「子育てとベビーカー」

ベビーカーに子どもを乗せ、駅の改札口を通ろうとしたら、若い職員に「ホームや電車内では使用禁止」と断られました。ホームでも使っている人を見かけるので、理由を質問しているうちに押し問答、結局、使うことはやめました。しかし、子どもを連れて歩くのは大変です。ラッシュ時以外は使ってもいいと思うんですが...。そして、一般の人に、階段を上るときなど、手助けしてくださるようなふんわりがあれば、なお助かると思うわ。

★子育てに特権なし その1
私も1歳の男児を持つ母親。子育ては大変

ですが、誰でも自分で産んだ子は自分で育てているんです。子育てに特権はありません。駅のホームはすべりやすく危険で、ベビーカーもそんなに強くはできていません。だから私は駅員のいった態度は当然だと思っています。ましてや一般の人に手助けしてくださるような、うんぬん...などという考えは、甘え以外の何物でもないと思います。

最近、手持ちであることを理由に、約束の時間に平気で遅れたり、電車の中で座席に座りたそうな素振りを見せたりする人が増えているみたい。子育てママであらうと、ただの社会人であることを自覚、世の中のルールに従って生活するのは当然のことと考えます。

★その2

2人の子持ち。いかにラッシュ時以外といっても、ベビーカーは場所も取るし、ちょっとした振動でもさつと走り、電車内でも危険です。なにより安全なのは「おんぶ」。昔からの生活の知恵に交えられた「おんぶ」や「だっこ」で、子ども達とスキンシップを図りながら、人に迷惑をかけない最低限の生活をすればいい。それが母親の務めだと思います。

★
これを読んでどう思いますか。なにか感じるものがあつたら、手紙、葉書、電話、何でもいいですから事務局までください。待っています。

★
又、新聞、テレビ、その他のマスコミでカチンと来るものがよくありますね。そんな時鈴木さんのように声に出しちゃうことは、とても大切だと思うんです。みなさんも、やってみませんか。
(神田)

おたよりから



大宮市

2歳の男児を育て、日々の家事を手ぬきしながら自分自身の生きがいを探している主婦です。貴会のことを知り、日頃私が感じ、悩んでいた諸々の事柄を他の方々も思っていることを知り教えられる思いでおります。私も育児をしながら、そして単調な日常のくり返し「スイジ、センタク、ソウジ」の中で、「こんなはずじゃない、もっと何か別の生き方があるはずだ」と思いつづけています。もっと社会に接したい、もっと自分自身の時間を持ちたい、ご近所の奥さんとダベリングだけじゃなく意義のある(?)話し合いをしたいと考えています。子育てをしながら何か実のあることができれば...というわけで貴会のことについてくわしく教えていただければ幸いに存じます。

江東区

妊娠してすぐ会社を辞め、出産、育児に追われてから一年半、息子は10ヶ月を迎えホッとした今、何かもの足りなさを感じ、何かをしたくてウズウズしている毎日です。子持ちには育児のみでよい...というのではない、そう思いたいのですが、実際のところやはり何も出来ないのが現実で家事、育児にイライラしたり。私のまわりでもそういう人が多い。これはよく言われているような核家族化、夫

の育児不参加etc、だけでなく、私達女性の自立心と向上心のあらわれかと思えます。それはとてもすばらしい事で、私は何歳になっても失いたくありません。あんふあんてに入っても生活はさほど変わらないかもしれない。でも他の女性の考えを知ること、一つでも何か得るものがあるかもしれない。そう思ってペンをとりました。

宝塚市

私の知人が出産しましたので、お祝いに私が代わって入会手続きをとっています。

調布市

育児に追われ、疲れ、時に亭主のことで自信を失った時、この「あんふあんて」の新聞を読みます。自分がなんて小さい所でクヨクヨしていたんだらうと、ガンバろうという気持ちになります。大変だけどガンバって明るく生きていきたいと思います!!

兵庫県

会に入って何の活動もせずにきたため脱会しようかと考えたりましたものですから遅れて申し訳ありませんでした。やめたらおしまいだし自分から動かねばと思うようになったので今後もしよろしくお願い致します。

北九州市

情報誌毎月楽しみに待っています。3月号だったかしら、社宅で共同保育しようとして失敗した方のお話が出ていましたが、私も社宅に住んでいます。子どもを注意してガミガミ

ミどなられ、その時5年目にして社宅なんかくそくらえと思えました。それから北九州市のホットラインメイトという情報誌で公民館や消費者センターに保育室をという手紙をとり上げてくれましたが、一人もやろうという返事がこなくて、私みたいに預ける所がなく困っている人っていないのかしらんと思っています。

八千代市

新幹線のベビーカー設置は当然のことと思いますが、一度京成線のホームにてベビーカーを使っていたら怒られたことがあります。そんなに混んでいなかったし、すいている時は是非認めて欲しいですね。バスもかしらと考えてますが、皆さんは如何思っていますでしょうか?

山形市

山形あんふあんても活動して一年になりました。会員もふえずにこれといった活動もしていませんが、近いうちに一年の総決算の意味で、グループだよりを出したいと思っています。

杉並区

4歳の子供が幼稚園に通い出しました。幼稚園という所は手のかかる所なのでちょっと驚いています。送り迎えはともかく、絵本袋、ぞうり入れetc.を作らされたし、母の会も月1回あるし、手紙をしょっちゅう持って帰ります。親が手をかければ良い子になるとも思えないのですが...

お知らせ

★7月交流会
 ●7月22日(土)23日(日)(日中参加のみ可)
 ●「フリースペース」にて
 (土)1時に小田急線向ヶ丘遊園駅待合せ

宿泊は10名まで。1泊千円(子も含む)

宿泊予約を必ず事務局へ。

託児は特にしないが、遊ばせてはおける
 ●結婚制度ってホントに女の味方?

税金・年金・手当などのお金の面や、親権・改姓・戸籍・財産分与などの行政制度や法律の面などでも、意外な落とし穴がひそんでいるのではないかと皆で点検してみたいと思うのです。確定申告や源泉徴収票・年金・手当などや戸籍謄本・抄本・住民票などを集め寄り、あらためてシミジミと見つめてみたら何が見えてきますでしょうか?で、持ってきたものは持ってきてみて欲しいのです。(土)午後は弁護士の人にも来る予定。この際いろいろ聞いてしましましょう。

★8月交流会

●8月26日(土)27日(日)(日中参加のみ可)

●「でいんだん」にて

西武新宿線田無駅よりバス5分

宿泊は8名まで。費用未定。

宿泊予約を必ず事務局へ。

●「ナンデ働くの?」(詳しくは次号で)

情報コーナー

★同じ様な気持ちの方とヘルパーし合えたら...
 埼玉県鶴瀬に越して来て3ヶ月。たまには主人と2人だけで飲みに行きたいなと思っているのに、近所にいるイトコ夫婦は「そんなのは母親失格!!」と言って娘を預かってはくれません。同じような気持ちの方とヘルパーし合えたらと思うのですが...。私は24歳、娘は7ヶ月半です。



雑学考

地震で思い出したけど、こんなヘーッな、ソラ恐い話。

「地震災害対策特別法」って言うのが今度出来るそうで、今まで災害の際には都道府県知事が防衛庁長官に自衛隊の出動を要請していたんだけど、今度は、首相が「地震災害対策本部」を立ち上げて、防衛庁長官に出動要請するシステムだそう。それで、要請された自衛隊は、まさきに誰を助けるかという、...。日本の象徴、「天皇」カナと思うでしょ。それがががのネ、あの皇居は広いし、まず安全だし、(東京都防災会議がついてこの間まとめた被害想定でも、何故か千代田区・中央区・港区は比較的安全地帯なんです)で、第一番が首相、それに閣僚と続いて、ヘリコプターで安全な所に避難させるんだって。鉄筋スキのブロック塀、ゴムなどの柔軟なワクでないガラス窓、等の危険さは今回の宮城県沖地震でも明白だけど、もう一つ、関連して知っておいて欲しいこと。高層ビルは多く使われている今のコンクリート工法は大変危険なものなんだそう。というのは、昔は河川の砂利を使っていたのに、今は使いつくしてしまつたため海の砂利を使っていて、これは塩分を含んでいるため、塩分除去を完全にしないと鉄筋を腐蝕させるからとのこと。こんなわけで、地震にはきわめて弱い欠陥ビルやマンションが次々に建てられているのが現状。あなたの所は大丈夫といえますか?(古知)

ミニコミ紹介

△婦人民主新聞▽

毎週金曜日発行され、婦人問題を中心にあつかい、婦人と子どもの解放を目標にした紙面作りに特長があります。

これは「婦人民主クラブ」という、戦後ずっと婦人解放のために戦ってきた団体の機関紙から発展してきたもので、全国的規模の運動、地域の運動、日常生活の中での闘争を経てきた女たちの不屈の精神と、そこから得た確固たる視線、考え方に編集方針が貫かれています。読者参加も多く、論争が徹底的に行なわれます。読後、よくもわるくも気になる記事には数週の間(必ずといってよい程)反論が出ます。

大新聞の全く扱わない記事や、同じニュースでも独自の扱い、掘り下げた記事にいつも感心させられています。婦人問題に関しては世界、特にアジアの女性の動きもよくわかります。若い女性や主婦の問題も、かなり活発に扱われるようになり、あふあふんてが要望書を出した「国立婦人教育会館」の問題も最新号(6月16日号)一面に載っています。

この新聞の確かな視点に支えられ、大新聞が伝える日本、私たちとは、もうひとつ異なる流れを私はとらえます。送られてくるミニコミの中でいちばん待ち遠しく、勉強になる新聞です。グループでまわし読みをしてはいかがでしょう。1ヶ月分350円です。

(幾代)

図書コーナー

△女の現在▽ 育児から老後へ

伊藤雅子著 未来社刊

国立公民館職員でおられる伊藤さんの著書です。日常、多くの主婦たちと接し、地域と関わりながら生活している重さが伝わり、彼女たちのあまりにも曇りのないまなざしに、私は大きなショックを受けた。私自身、共同保育をしていて、子供を一人で育てている実感はほとんどなく、又夫との関係や、仕事のこと、それなりに考えてやっていたつもりだったが、自分の姿が何と見えていなかったこと、どうしようもなさ、閉じこもっている女達の現状と、私も無縁ではない。多くの人とつきあえる柔軟性を持たなければと思う。

男と女の、そして子育ての問題は、様々な要因がからみあい、社会的矛盾が大きいのかかる。その痛みをしっかりと見据え、自分の状況を正しくとらえなくてはならない。そんなことを著者は主張しているように思う。

(小平市)



忘れないでよ!

国鉄本社広報部の岩井さん!!

||ベビーコーナー中間報告||

「新幹線にベビーコーナーを」の署名1600名分と要望書といくつかの資料は5月30日に国鉄本社に届けられた。

高木国鉄総裁宛の要望書は次の5項目。

1. 腕木について
2. 授乳する場所について
3. トイレについて
4. 禁煙車輻・冷暖房の調節について
5. 駅のホームへのトイレ設置など

6月13日に担当が決ったかどうかの確認をしたが、交換手から秘書室、そして文書課、そこから本社文書課、あらためてかけ直し交換から広報部と、やっと要望書の行方をつきとめた。この間、6回も同じことをくり返し、その課の役目の説明を聞き、あふあふんての説明と要望書の内容をしゃべること30分。

現在、要望書は常務理事を回覧中で担当は決っていないとのこと。1週間後に電話をしますが、忘れないでよ、国鉄本社の...広報部の...岩井さん。あふあふんてから電話があったこと。(山田)

(ゴクローサマでした。山田さん。)

事務局から

●ついこの間、電話をいただいた狛江市の会員の方へお名前を聞いていませんでしたので、何かとても主観的というか独断的というか、そんな感じで答えてしまったような気がして、それに、説明のことが不足している気が悪くしてしまったのではないのでしょうか。ゴメンナサイ。話の内容は「読書会」についてでしたね。「読書会」は好きじゃない……なんて言ってしまったその後も、考え込んでしまいました。この件については、ゆっくりと書いてみたいと思います。他の方々も何かこのことで御意見がありましたら、お寄せ下さい。

(古知)

●今やいろいろな連絡などは電話ですることの方が多くありますが、意外に会員の方で電話番号が事務局に伝わっていない方がいらっしゃるのです。途中、引越をされた方、フェイシートやカードを送っていらつしやらない方、入会問い合わせの時に書いていない方などに多いようです。この項に印のついている方、至急電話番号をお知らせ下さい。又、住所変更の際には必ず、会員番号・旧住所・新住所・電話番号をハガキで送って下さい。●グループリストの連絡先役の方や御紹介した近くの会員の方へ電話をかける時は、時間帯や話し方にもっと思いやりをもって下さいね。いくら役目とはいえ、皆さん子どももいるし家庭もあります。自分の都合だけでなく、一つの出会いとして活かしたいものです。

編集部から

●宮城県の方々、地震御見舞い申し上げます。今、どうしていますか。毛布やタオルケット、衣類だったら会員の方々から送ってもらうこともできると思いますよ。小さい子がいると、とても大変でしょ？住まいの方が支障があるのでしたら、東京の方だったら御協力できると思いますよ。御一報下さい。

●むしろ東京の方が危いかもしれませんね。皆さんは大地震の時の一時身を寄せるところは決まっていますか。せつかくの全国組織です、会員同士で約束し合っておいたらとても心強いと思うのですが、いかがお考えですか。

●地震もだけど、福岡県の方々、水ききんで大変でしたね。水を送るわけにもいかないのですね、ハラハラと見てるだけでしたが、他人事ではありません。是非、経験談をおきかせ下さいな。

●どうもこの頃、発行が送れぎみですが、北島山グループ編集ページのおかげで、又少しづつ早く発行できそうです。

★入会申し込みは切手300円分を同封し、住所・氏名・電話番号・郵便番号を記入。宛先は表紙上段に記載。
★参加費は1ヶ月300円、なるべく6ヶ月以上まとめて郵便局で。払込先は表紙に。
★事務局の電話受付は原則として月/金の11時3時ですので御協力を。

スケジュールメモ

★7月2日(日) 1時(横須賀線衣笠駅待合せ) 横須賀共同保育所「すぎのこ」(駅より3分)

共同保育・預け合いのミーティング

★7月22日(土) 23日(日) (日中参加のみ可) (土)1時(小田急線向ヶ丘遊園駅待合せ)

「フリースペース」

7月交流会

★8月26日(土) 27日(日) (日中参加のみ可) 「でいんだんどん」(西武新宿線田無駅よりバス5分、

8月交流会

△ナンデ働くの?▽

